

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名							
柔道整復実技9							
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名		実務経験		
柔道整復学科・夜間部	3年	3・4期	齋藤 一磨		○		
分野区分	教育課程			講義形式	単位	コマ数	
専門分野	実習			実技	1	20	
科目概要							
柔道整復師としての施術適応の基準を学び、臨床に出たときに不安なく業を全うできることを目標とする。							
目標							
<b>一般目標(GIO)</b> 本講義を学ぶことで達成されるべき目標	臨床において外傷の対応を正しく行えるようになるために、鑑別診断、医用画像における症状と所見を判断し、最適な治療環境を選択できるようにする。						
	<b>到達目標(SBO)</b> 一般目標を達成するために必要な具体的な内容、客観的な指標(合格基準)	1. 上肢の損傷における評価、医用画像を含めた臨床的判定を理解し説明できる。					
2. 下肢の損傷における評価、医用画像を含めた臨床的判定を理解し説明できる。							
3. 上肢・下肢の損傷の臨床的判定を把握し、鑑別診断することができる。							
履修に必要な予備知識や技能							
柔道整復師としての施術適応の基準を学び、臨床に出たときに不安なく業を全うできることを目標とする。							
教科書・参考書							
教科書:「施術適応と医用画像の理解」(公社)全国柔道整復学校協会(南江堂)							
受講上の注意							
柔道整復学理論・実技の内容・一般臨床の内容を理解しているとスムーズに勉強できます。理論・実技・一般臨床の教科書の予習復習をお願いします。不明な点は、授業内でも授業外でも構わないので適宜確認・質問してください。授業に必要なものは、必ず授業前に準備をしておいてください。							
成績評価方法							
評価方法	定期試験	小テスト (チェックテスト)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
評価割合(%)							0
実技試験実施要項							
回数	授業内容			教科書	教材・持ち物		
第1回	柔道整復術の適否を考える			施術の適応と医用画像の理解 P1-8	教科書 (施術適応と医用画像の理解)筆記用具、白衣、サンダル		
第2回	損傷に類似した症状を示す疾患			P9-22	教科書 (施術適応と医用画像の理解)筆記用具、白衣、サンダル		
第3回	血流障害を伴う損傷			P23-26	教科書 (施術適応と医用画像の理解)筆記用具、白衣、サンダル		
第4回	血流障害を伴う損傷			P23-26	教科書 (施術適応と医用画像の理解)筆記用具、白衣、サンダル		
第5回	末梢神経損傷を伴う損傷			P27-36	教科書 (施術適応と医用画像の理解)筆記用具、白衣、サンダル		
第6回	末梢神経損傷を伴う損傷			P27-36	教科書 (施術適応と医用画像の理解)筆記用具、白衣、サンダル		
第7回	脱臼骨折			P37-40	教科書 (施術適応と医用画像の理解)筆記用具、白衣、サンダル		
第8回	脱臼骨折			P37-40	教科書 (施術適応と医用画像の理解)筆記用具、白衣、サンダル		
第9回	外出血を伴う損傷			P41-48	教科書 (施術適応と医用画像の理解)筆記用具、白衣、サンダル		
第10回	病的骨折および脱臼			P49-51	教科書 (施術適応と医用画像の理解)筆記用具、白衣、サンダル		
第11回	病的骨折および脱臼			P49-51	教科書 (施術適応と医用画像の理解)筆記用具、白衣、サンダル		
第12回	柔道整復術			柔道整復学実技 P2-4	教科書 (施術適応と医用画像の理解)筆記用具、白衣、サンダル		
第13回	運動器系の疼痛を訴える患者の施術			P5-36	教科書 (施術適応と医用画像の理解)筆記用具、白衣、サンダル		
第14回	運動器系の疼痛を訴える患者の施術			P37-59	教科書 (施術適応と医用画像の理解)筆記用具、白衣、サンダル		
第15回	肩部の痛みを訴える患者を診察するときの考え方				教科書 (施術適応と医用画像の理解)筆記用具、白衣、サンダル		
第16回	腰部の痛みを訴える患者を診察するときの考え方				教科書 (施術適応と医用画像の理解)筆記用具、白衣、サンダル		
第17回	腰部の痛みを訴える患者を診察するときの考え方				教科書 (施術適応と医用画像の理解)筆記用具、白衣、サンダル		
第18回	膝部の痛みを訴える患者を診察するときの考え方				教科書 (施術適応と医用画像の理解)筆記用具、白衣、サンダル		
第19回	試験						
第20回	総復習						
実務経験と本講義との関連について							
1日平均250人のクリニックで5年間。サッカーJFLのチームトレーナーを9年間。鍼灸接骨院開業8年目 鍼灸接骨院3店舗 デイサービス1店舗経営 整形外科的な見解と接骨院経営を踏まえて講義をしていきます 所属学会は日本柔道整復接骨医学会・日本超音波骨軟組織学会・日本電気治療協会・日本柔整外傷協会・鈴木トリートメントメソッド協会・リズムトレーニング協会・分子整合医学美容協会							
メールアドレス							
@nihonisen.ac.jp							